

人工膝関節置換術後患者の手段的日常生活活動に運動機能と疼痛が及ぼす影響

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2018 年 10 月～2019 年 6 月に当院の人工関節センターで人工膝関節全置換術（TKA）または人工膝関節単顆置換術（UKA）を受けられた方

2. 研究目的・方法

変形性膝関節症（Knee OA）に対する人工膝関節術後患者の手段的日常生活活動（IADL）の自立・非自立に術前後の運動機能や疼痛がどのように関与するかを探索します。これにより、人工膝関節術後でも要介護化などに陥りやすい対象者を選別していくことが期待できる可能性があります。研究の対象に該当する患者さまを研究対象者として登録し、登録時以降に臨床情報を診療録より取得します。

研究期間：施設院長承認後～2020 年 12 月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、BMI、社会的情報病歴（同居家族の有無と構成、介護保険の有無）、既往歴、手術情報、手術前後の診療情報 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

南條 恵悟（研究責任者）

医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

リハビリテーション科 副主任 理学療法士

住所：神奈川県鎌倉市岡本 1380-1

連絡先：0467-46-1717

（2020 年 1 月 14 日作成（第 1 版））

雛形 2019.07.01